

Ⅱ. 調 査 法

Forschungsmethode

1. 植 生 調 査 Vegetationsaufnahme

調査法は現在広く用いられている Braun-Blanquet (1964) による植物社会学的全推定法によって行なわれた。以下にその手順が示されている。

様々な環境要因の総和のもとに生育している植生を把握するためには、まず現地踏査による植生調査 (Vegetationsaufnahme) が行なわれる。

現地植生調査は1982年8月から、1983年9月にかけて計3回行なわれた。植生調査にあたっては、ほぼ同一の相観を有し、同質と判定される立地条件で最小面積を満している植分が対象とされた。同時に、群落階層区分、種のリストアップ、総合優占度 (被度) および群度の判定、活力度、立地条件など現地で観察、判定できる限りの事項について記入された。

2. 群 落 区 分 Gliederung der Gesellschaften

野外で得られた植生調査資料は、優占種や生活形などを判断基準としてほぼ同じ群落に属すると考えられる植分ごとにまとめられ、各群落組成表が作製された。群落組成表は5mm方眼紙を使用し、1. 植生調査資料 (アウフナーメ) の一つの表への記入 (素表)、2. 素表を常在度の高い種から低い種へと並べかえ、同時に出現種数の少ないアウフナーメから多いアウフナーメへの順序に並べかえる (常在度表)、3. 異なったアウフナーメ同士に共通して出現する種を見出し、別表に抽出する。表のタテ、ヨコの並べかえ操作によって区分種と予想される種群の組み合わせを発見する (部分表)、4. 部分表により識別された種群の組み合わせの順序に素表を並べかえ、地域的な群落分類表を作製する (区分表)、5. 総合常在度表による広域的な比較によって、標徴種、区分種を発見する。6. 標徴種、区分種をもとに組成表を組みかえ、清書する (群集表、群落表)。以上の順に作業が行なわれた (宮脇1967, 1969, 宮脇・奥田・望月1978他参照)。

3. 植 生 図 化 Kartierung der Vegetation

今回作製された植生図は、現存植生図と潜在自然植生図である。現存植生図は野外に生育している現存植生を対象としたものである。現地調査および群落区分の手順で抽出された群集、群落単位をもとに、空中写真を参考にして、縮尺1:2,500で作製された。潜在自然植生図は一切の人為的影響が停止された際に、その土地が支え得る立地本来の潜在自然植生によって描かれた植生図である。残存自然植生、代償植生の配分や地形、土地利用形態、土壌断面などを総合的に考察された結果、潜在自然植生が判定された。本調査地域は現存植生図と潜在自然植生図とが互いに一致する部分が多く、全体的に自然度の高い地域といえる。

Tab. 1 植生調査の一例 Beispiel einer Vegetationsaufnahme

Name d. Gesellsch. クリーコナラ群集

Aufn. Nr. S-54 Dat. 4. Sept. 1982 Ort 栃木県塩谷郡塩原町片角

Aufn. von S. S., H. T. u. Y. T.

B-1 22 m 80%

B-2 12 m 40%

S 3 m 60%

K 0,4 m 60%

M %

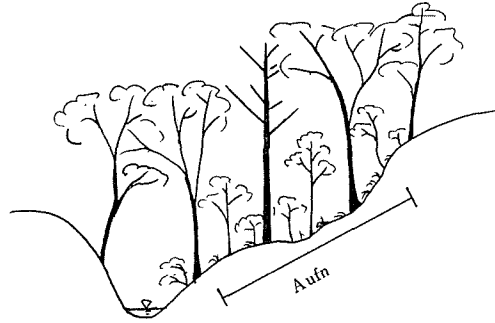
Exp. u. Neigung NW 30°

Höhe ü. M. 460 m

15×20 qm

Mikrelief u. Boden 谷に面した斜面

Artenzahl 59 spp. 下部テラス状



B ₁	4•3 コナラ (DBH 1m)	S	2•3 マルバマンサク	K	3•3 コカンスゲ
	1•1 モミ		1•2 コアジサイ		1•2 レンゲショウマ
	1•1 サワシバ		1•2 キハギ		1•2 タガネソウ
	1•1 イヌシデ		1•2 モミ		1•2 アズマスゲ
	1.1 ウラゲエンコウ		1•2 ヤマツツジ		1•2 トリアンショウマ
	1•1 オオモミジ		1•2 サワシバ		1•2 チゴユリ
			+•2 マユミ		+•2 タチドコロ
			+•2 コゴメウツギ		+•2 ウスバサイシン
			+•2 ツリバナ		+•2 イワガラミ
			+•2 クロモジ		+•2 オオバショウマ
B ₂	2•3 アワブキ		+•2 マルバアオダモ		+•2 シシウド
	2•2 アカシデ		+ ムラサキシキブ		+•2 オクモミジハグマ
	1•2 サワシバ		+ バイカツツジ		+ ヒカゲミツバ
	1•2 イヌシデ		+ カシミザクラ		+ ヤマジノホトトギス
	+ アオハダ		+ ツクバネウツギ		+ スズビトハギ
			+ アズキナシ		+ ナガバコウヤボウキ
			+ コハウチワカエデ		+ ツルキンバイ
			+ ウラジロノキ		+ オオバギボウシ
			+ ミズキ		+ マツブサ
			+ シラキ		+ センダイトウヒレン
			+ ガマズミ		+ クマイザサ
			+ エゴノキ		+ ナガバハエドクソウ
			+ アオハダ		+ イヌトウバナ
			+ ウリカエデ		+ ミツバアケビ
					+ クリ
					+ タマアジサイ
					+ ヤマウグイスカグラ
					+ ノササゲ
					+ タツナミソウ sp.

(Abt. Vegetationskunde d. Inst. f. Umweltwiss., Staatl. Universität Yokohama)